

A-6 血中コレステロールに対する干しいタケ水浸出液の低下作用について
和洋女大文豪政 ○宮川豊美 田口秀子 川村一男

目的 シイタケの薬効については、種々の事が言われ、金田等はシロネズミにシイタケ粉末添加食を摂取させた結果、著しく血漿コレステロール（以下Choと記す）が低下したことを報告した。巷間干しいタケの水浸出液が、高血圧症に有効であるとの説を聞いたので、演者等はこのことについて吟味する目的で実験を行った。

方法 実験動物は、ウイスター今道系の子後100日目のラット雌雄25匹を使用し、2週間基本飼料（無Cho食）で飼育順化した後、これらを次の四群に分け、それぞれ10週間飼育した。即ち、才I・II群は干しいタケ浸出液（以下浸出液と記す）給与群、才III・IV群は水道水給与群で、その内、I・IIIはCho添加食、II・IVは基本飼料を給与した。浸出液は、10gの干しいタケを12時間1ℓの水で浸出したものである。Choの定量は、ジアゲノテスターCL微量法によった。

結果 血清Cho値について、予備飼育最終期の3日間と本飼育35日目についてみると、III（Cho食+水）対I（Cho食+浸出液）群では、前者は28.0%血清Choの増加がみられたのに対し、後者は28%の増加であった。また、Iの本飼育70日目では35日目に比し2.8%の減少をみた。IV（基本飼料+水）対II（基本飼料+浸出液）群では、後者は35日目には12.8%、70日目では23.4%の減少をみた。これらはいずれも危険率5%で有意であった。

以上のことから、干しいタケ水浸出液は、血清コレステロール値を低下させる作用があるものと考えられる。